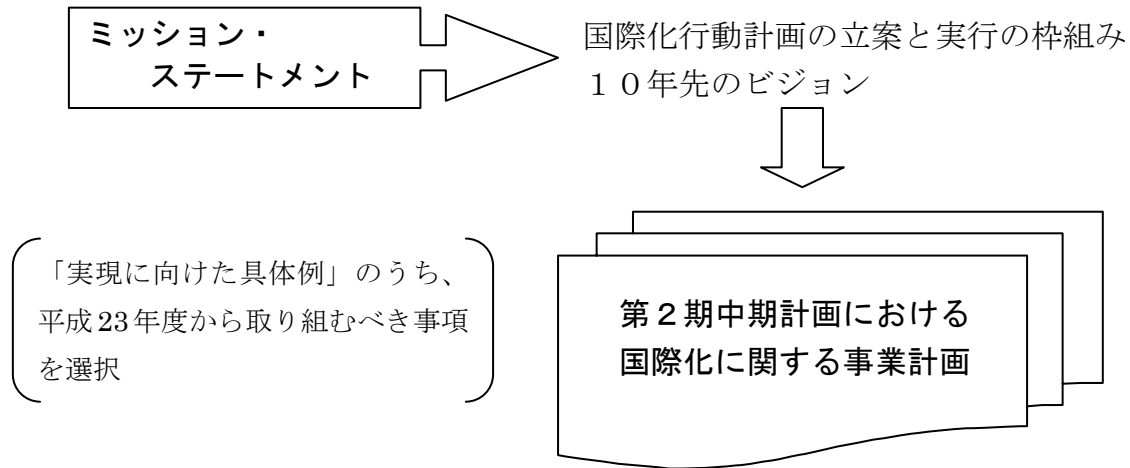


「国際化に関するミッション・ステートメント」と第2期中期計画について

1. 第2期中期計画の策定プロセス



2. 第2期中期計画における「国際化」に関する主な取組

① 基本的な考え方

ミッション・ステートメントに沿った取組を推進する。

「グローバルな視野をもって活躍する人材を育てるとともに、横浜市の国際政策と連動しながら、さまざまな分野での国際的な貢献を実現する。」

② 国際的なカリキュラム・英語教育の充実

プラクティカル・イングリッシュセンターによる英語教育及び国際総合科学部における英語による授業の更なる充実を図るとともに、大学院における JICA 人材育成支援無償事業への応募を機とした国際的なカリキュラムの開発等に努める。

③ 柱となる事業

エコ2プログラムを核としてアカデミック・コンソーシアムによる取組を推進し、海外大学とのネットワーク構築、教員・学生の交流等を通じて、教育の国際化及び研究の国際化を図る。

④ 留学生の受入及び派遣

留学生の受入・派遣に関しては、海外大学との協定に基づく交換留学を基本として、着実な増加を図る。

交換留学生の宿舎確保に関しては、民間宿舎の一括借上げにより対応する。私費留学生に関しては、引き続き留学生住宅総合補償制度により円滑な宿舎確保を支援する。

国際化に関するミッション・ステートメント

「本学は国境を越えた地球レベルの問題に取り組んでいます。その実現に向けて、グローバルの視野を持って活躍する人材を育てるとともに、横浜市の社会インフラとして、横浜市の国際政策と連動しながら、さまざまな分野での国際的な貢献を実現していきます。」

ミッション・ステートメントの柱		具体例	～ 22年度の取組	第2期中期計画の取組	第3期中期計画以降の取組	将来像		
I. 教育の国際化	①海外の大学・大学院等との連携強化、国際都市間大学等ネットワーク創設(アカデミック・コンソーシアム)	1. アカデミック・コンソーシアムによる海外大学との国際的ネットワーク構築	a. CITYNETの加盟都市にある大学との連携	・他大学との連携 ・市内国際機関との連携	海外の大学等との連携	海外の大学で通用するカリキュラムづくり		
		2. 国際都市の諸課題解決	a. 横浜市の姉妹都市、友好都市およびパートナー都市に所在する大学との連携 (上海、サンディエゴ、ムンバイ、ハノイ、ホーチミン) (JICA横浜、YOKE、国連大学、世界銀行等)		・ECO2プログラムを柱としてアカデミック・コンソーシアムの推進			
		②海外協定締結大学からの留学生受入と、本学学生・院生の派遣の促進	1. 留学生受入体制の充実	a. 協定に基づく交換留学生受入 b. サイエンス・サマー・プログラム c. 特別聴講生受入(ベトナム)	a. 留学生の学力の質確保			
			2. 国際的カリキュラムの整備	a. 人材育成支援無償事業(JDS)に係る国際的カリキュラム開発	(継続)			
			3. 留学生対象の宿舎確保を行う	a. 留学生の住居確保に関する方針確定 (民間宿舎の一括借り上げ)	(拡充)		(拡充)	
			4. 留学プログラムの充実	a. 米国 Semester 留学プログラム b. 海外フィールドワーク c. 海外インターンシップ・国際ボランティア	a. 海外協定校等との留学プログラムの拡充 b. 大学院教育における国際色の実質的な打ち出し			
	5. 英語教育の拡充	a. 英語教育(PE, APE)の充実	a. 英語教育(PE, APE)の充実 b. 国際総合科学部における英語授業の拡充					
	6. 日本語教育プログラムの整備				・日本語教育プログラムの整備			
	③海外の大学で通用するカリキュラムづくりの検討	1. 単位認定やダブル・ディグリー制度に関する調査実施		a. ダブルディグリー等に関する調査	→		・ダブルディグリー制度の導入	
		2. 国際言語(英語等)で授業ができる教員拡充	a. 国際公募の実施	(継続)				
3. 遠隔授業の充実		a. 遠隔授業の実施 (九州大学からカリフォルニアオフィスより)	a. 海外大学等との遠隔授業					
1. アカデミック・コンソーシアムの設立		a. 研究ユニットの立上げ						
II. 研究の国際化	①アカデミック・コンソーシアム(再掲)	1. 海外の先進的な研究機関や大学との連携	a. FDA等先端研究を行う研究機関との連携	a. 産業界や学外の教育研究機関との連携		グローバルな人脈づくりが可能な		
		2. 国際共同研究制度の整備		a. 先端研等の研究推進体制の整備	→		・国際共同研究制度の整備	
		3. 外部資金獲得及び国際シンポジウム開催	a. 外部資金獲得(国の大型グラントへの申請) b. 国際シンポジウム開催	(継続)				
		4. 研究者受入環境の整備	a. 金沢ハウス運営	(継続)				
③研究シーズから産まれた知的財産管理の国際化	1. 国際産学連携の推進			a. 知的財産の創出と還元による国際社会への寄与		国際化のための教育支援システムの構築		
	2. 知的財産管理に関する方針の策定	a. 知的財産ポリシー						
III. 大学組織の国際化	教職と職員の国際化	1. 教員採用における国際公募	a. 国際公募の実施	(継続)		国際化に関する研修の実施		
		2. 教職員の国際化研修の実施						
IV. 国際化していく都市の課題に対する大学の貢献		1. 国際都市間の課題解決貢献	a. 国際シンポジウムの開催(アカデミック・コンソーシアム等)	(継続)		国際化のための教育支援システムの構築		
		2. 市民向けのオープンセミナー開催	a. 市民向けのオープンセミナー開催(アカデミック・コンソーシアム等)	a. 知的資源の地域社会への積極的な還元・発信				
		3. 市内在住外国人との交流		a. 地域における多文化共生の推進				
		4. 国際交流ラウンジとの連携強化	a. 国際交流ラウンジとの連携強化 b. ボランティア活動の推進	(継続)				
		5. 市内の小中高校等への英語教育サポート	a. 市立金沢高校へのPEインストラクター派遣	(継続)			・小中学校への英語教育サポート	
ミッション・ステートメントの柱	具体例	～ 22年度の取組	第2期中期計画の取組	第3期中期計画以降の取組	将来像			